

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE32033	
科目名	凝固・線溶学実習	
科目名 (英語)	Practice of Coagulation and Fibrinolysis	
授業形態	実習	
標準履修年次	2年次	
実施学期・曜時限等	秋 BC 水 5, 6	
使用教室	4 B113	
単位数	1.0	
担当教員名	二宮治彦、會田雄一	
備考	実務経験教員： 二宮治彦 (医師)、會田雄一 (臨床検査技師)	
使用言語 (☑してください)	<input type="checkbox"/> 日本語 ・ <input type="checkbox"/> 英語 ・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	二宮治彦 (4 B 4 0 6) (1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0)	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	
	医療	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と実践力
	国際	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 凝固・線溶に関する検査法原理の理解</li> <li>2 基礎的な凝固・線溶検査が実施できる。</li> <li>3 止血以上に関する病態を理解し、ふさわしい検査のデザインができる。</li> </ol>	
他の授業科目との関連	血液検査学実習、凝固。線溶学	
履修条件	なし	
授業概要	実習書に沿って、実習しレポートを提出する。 最終回には「実技試験」を課し、実技能力の保証をする。	
キーワード	止血、凝固検査、線溶検査、血小板数、血小板機能異常	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 11/13 二宮・會田 赤血球浸透圧抵抗性試験</li> <li>2 11/20 二宮・會田 血小板数の算定 (直接・間接)、血小板粘着能</li> <li>3 12/4 二宮・會田 カルシウム再添加時間</li> <li>4 12/11 二宮・會田 PT, APTT</li> <li>5 12/18 二宮・會田 TT、フィブリノゲン</li> <li>6 12/25 二宮・會田 血餅退縮</li> <li>7 1/8 二宮・會田 ヘパリンの抗凝固能 (PT, APTT) (用手法)</li> <li>8 1/15 二宮・會田 ヘパリンの抗凝固能 (PT, APTT) (CA50)</li> <li>9 1/29 二宮・會田 アンチトロンビン定量</li> <li>10 2/5 二宮・會田 実技試験</li> </ol> 二宮 (医師) の臨床経験、および、會田 (臨床検査技師) の検査実務	

	経験に基づいた実習を行う。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	実習（100%）、manabaによる事前説明ビデオ
単位取得要件	66.7%以上の出席と対応する課題（レポート）の提出を前提として、期末（実技）試験における及第点
成績評価方法	期末試験の点数に基づいて標語（A+～C）で評価する。
教材・参考文献・配付資料等	配布実習書 Manaba： <a href="https://manaba.tsukuba.ac.jp">https://manaba.tsukuba.ac.jp</a>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	成績不良者には、年度末に再試験を実施する。